

安全で住みよい交通社会の実現をめざして

こうこう いしかわ

2024
紅葉号

Vol.614



令和6年 歩行者事故防止運動

期間 10月21日(月)~10月30日(水)

運転者は

- 歩行者優先の原則を守りましょう
- 早めのライト点灯とハイビームの上手な活用

歩行者は

- 信号が青でも、安全を確認してから横断
- 外出時の明るい服装・反射材の着用

歩行者優先！

「チェック・ストップ・横断歩道」

交通安全キャンペーンで事故防止の呼び掛け

交通マナーアップいしかわ

www.i-ankyo.jp



高速道路を安全に運転しよう



高速道路では、一般道路と比較して走行速度が速いことから、ひとたび交通事故がおきると、重大な事故につながります。

高速道路での交通事故防止のためのポイントを理解し、安全な運転を心掛けましょう。



～交通事故防止のポイント～



逆走に注意

逆走してしまった場合

- 近くの安全な場所(路肩など)に停止し、ハザードランプを点灯してください。
- 車を停止させた後、車から離れてガードレールの外側などの安全な場所に避難してください。
- 安全な場所に避難した後、110番通報や非常電話で逆走したことを通報してください。

逆走車を発見した場合

- 逆走車は追越し車線(最も右側の車線)を走行してくる傾向がありますので、第一通行帯(最も左側の車線)を走行しましょう。
- 同乗者から110番通報を行うか、最寄りのサービスエリア等の非常電話などから逆走車の情報を通報してください。



駐停車しない



高速道路では、故障時や警察官の指示などで停止する場合を除いて駐停車禁止です。

路肩を走らない

路肩は自動車が走行する場所ではありません。故障等のやむを得ない場合を除き、走行や駐停車をしてはいけません。



高速道路における緊急時の三原則!

路上に立たない

路上で電話や口論をしているところを後続車にはねられる事故が発生しています。

車内に残らない

車内は決して安全ではありません。後続車に衝突され、命を落とすケースもあります。

安全な場所に避難する

後続車に十分注意しながら、速やかにガードレールの外側などの安全な場所に避難してください。

✓ **三角停止表示板や発炎筒の携行とチェックを忘れずに** ✓

高速道路を走行する場合には、三角表示板や発炎筒を車に常備しておくとともに、発炎筒の有効期限を確認しておきましょう。また、速やかに使用できるよう使用方法を確認しておきましょう。



石川県警察本部 交通部 交通企画課 TEL (076) 225-0110



交通安全を願い、各地域で活動している方々を紹介します

草の根安全活動 92



内灘町防犯と交通安全推進隊

本部隊長 森野権司

交通安全推進隊員として44年間を振り返って

私は、昭和56年4月に内灘町防犯と交通安全推進隊に入隊し、以降現在に至るまで44年の長きにわたり、地域の安心・安全を守るべく通勤・通学の要所において積極的な街頭指導に従事してきました。

入隊のきっかけは、当時、悲惨な交通事故が多発しており、新聞を見れば交通死亡記事、テレビを見れば大破した事故車両の映像、特に幼い生命が奪われている現状に心を痛めておりました。このような状況下で悲惨な交通事故を減らすため、自分に何か出来ることはないかと考え続ける日々でした。

ある日の朝、通勤の時間帯に私は自家用車で内灘町の主要地方道を金沢方面へ走行していた時のことです。横断歩道の30メートル位手前を小学校の低学年の児童数名が走行する自動車の安全を確認しないまま道路を小走りに横断していったのです。幸いにも車は走っておらず大事に至りませんでした。その時です。交通安全推進隊の隊員が急ぎ走り寄り、児童らを安全な場所に移動させた後、注意を始めたのです。もし、このまま児童らを見過ごせば、この児童らは今後もこのような

危険な行為を続けていたでしょう。そして、最悪生命を落とす可能性もあったのです。この交通安全推進隊員の行動を目の当たりにして、こどもの頃からの交通安全教育が大切であり重要であることに気づき推進隊への入隊を決意しました。

入隊当初は、交通規則や街頭指導の方法など、ほぼ素人であり自分なりに必死に勉強し、講習会や勉強会へも積極的に参加したことを覚えています。

通学時間帯の街頭指導では、安全誘導に熱意を込め児童生徒の皆さんに積極的に挨拶などの言葉をかけ、お互い顔の見える関係が出来、お互いに元気を貰っています。

最後になりますが、これまで私が交通安全推進隊員を続けてこられたことに多大なご指導を賜った津幡警察署並びに石川県及び河北郡市交通安全協会の皆様に心から感謝するとともに、より一層の連携を図り、しっかりとした双方向性の街頭指導を行い、悲惨な交通事故の撲滅に尽力したいと思えます。

こどもは、地域の宝であることを胸に刻んで。



横断歩道での街頭指導



内灘町防犯と交通安全推進隊の観閲式

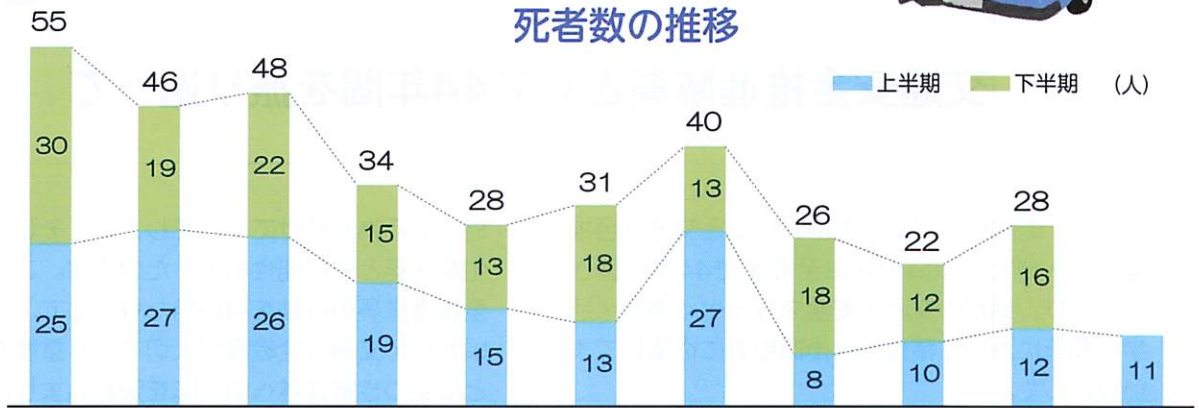
令和6年上半期における石川県内の交通死亡事故の特徴

令和6年上半期（1月～6月）における県内の交通事故による死者数は11人で、前年同期より1人減少しました。

死亡事故の主な特徴は次のとおりです。



死者数の推移

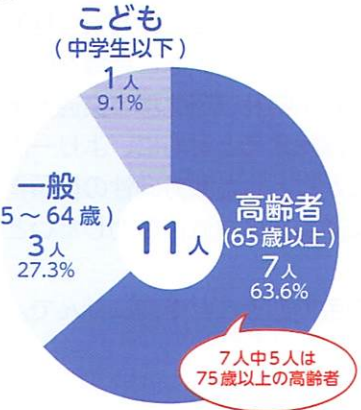


	平26	平27	平28	平29	平30	令1	令2	令3	令4	令5	令6
上半期(1月～6月)	25	27	26	19	15	13	27	8	10	12	11
下半期(7月～12月)	30	19	22	15	13	18	13	18	12	16	-
年間	55	46	48	34	28	31	40	26	22	28	-



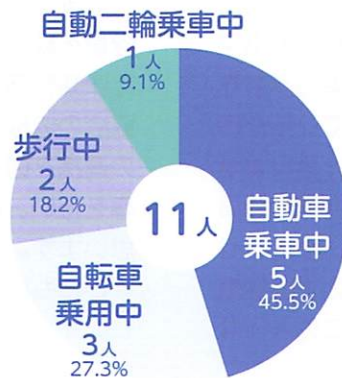
年齢層別

高齢者が多い



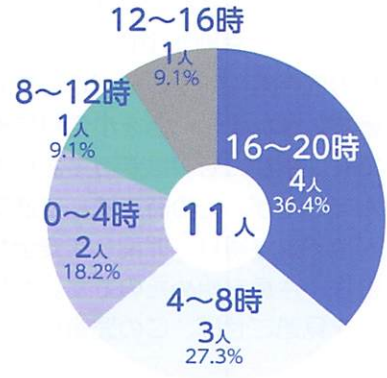
状態別

自動車乗車中が多い



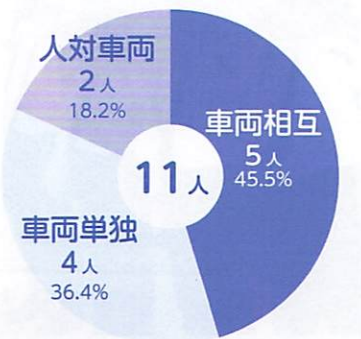
時間帯別

16～20時が多い



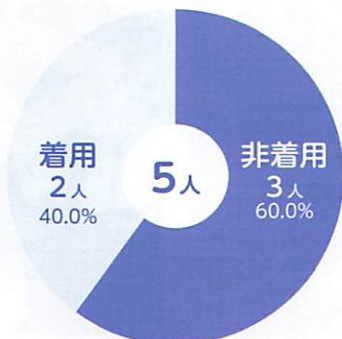
事故類型別

車両相互が多い



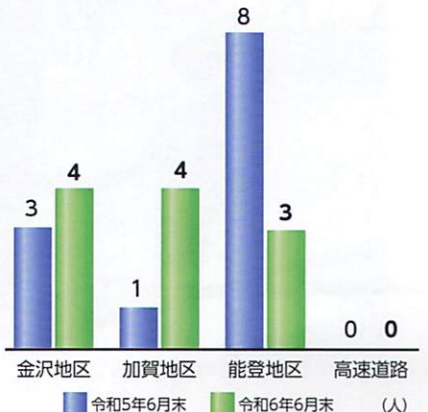
シートベルト着用状況

(自動車乗車中の死者)



地域別

金沢地区と加賀地区が増加



※端数処理の都合上、合計は必ずしも100%とはなりません。



第56回交通安全こども自転車全国大会

8月7日、東京ビッグサイトで第56回交通安全こども自転車全国大会が開催され、県代表として七尾市立朝日小学校（谷口心都選手、豊島煌大選手、豊島緋乃選手、坂井啓人選手の4選手）が出演し、団体18位の好成績でした。



遅のり走行に挑む県代表選手



県代表の朝日小チーム

地域交通安全活動推進委員に対する法定講習

8月27日～30日の4日間、県内4会場で県公安委員会から委嘱を受けた地域交通安全活動推進委員に対する法定講習を開催し、委員101人は県警交通企画課の窪美希課長補佐、(一社)日本自動車連盟石川支部(JAF)の辻浦千久係長の講義で道路交通の現状や関係法令の基礎知識などについて学びました。



県内4会場で開催



窪課長補佐



辻浦係長

令和6年度「第2回理事会」

9月10日、ANAホリデイ・イン金沢スカイで令和6年度「第2回理事会」を開催し、高田直人県安協長、西村和市長警交通部長の挨拶の後、今年度の上半年度事業報告など4議案を審議し、承認されました。



理事らが議案を審議

秋の全国交通安全運動

秋の全国交通安全運動が9月21日から10日間、全国一斉に実施され、運動前日の20日、アル・プラザ金沢で県と県警、当協会など関係機関・団体による交通安全キャンペーンを行い、買い物客らにチラシや反射材を配り、運動の周知と事故防止を呼び掛けました。



買い物客に反射材を配布

支部 だより

交通安全協会15支部の
活動状況です



金沢中支部 街頭交通推進隊支隊長会議 事故防止を誓う



当支部が支援する街頭交通推進隊は9月5日、金沢中警察署で支隊長会議を開催し、秋の全国交通安全運動期間中の活動について確認するとともに、金沢マラソンの交通対策を協議するなど、事故防止を誓いました。

金沢東支部 交通安全キャンペーン 交通安全は「内輪」から



当支部が支援する女性ドライバーの会は7月19日、金沢東警察署前で交通安全キャンペーンを行い、ドライバーに家族など身近な人「内輪」にも交通安全を広めてもらおうとうちわを配り、事故防止を呼び掛けました。

金沢西支部 交通安全キャンペーン 女ドラが呼び掛け



当支部が支援する女性ドライバーの会は7月12日、ユースストア金沢ベイ店で交通安全キャンペーンを行い、会員らは買い物客にうちわやチラシを配り、夏の交通安全県民運動の周知と事故防止を呼び掛けました。

加賀支部 死亡事故ゼロ7,000日達成 三谷支部に感謝状を贈る



7月4日に交通死亡事故ゼロ記録7,000日を達成した三谷支部に対し、同月11日、大聖寺警察署で感謝状贈呈式を開催し、井筒幸夫副協長が横谷武男支部長に感謝状を手渡し、木谷力署長が挨拶しました。

小松支部 高齢者ドライビングスクール 日頃の運転を見つめ直す



6月28日、こまつ自動車学校で高齢者ドライビングスクールを開催し、西軽海町老人クラブの21人は教習コース内を走行して指導員からアドバイスを受けるなど、日頃の運転を見つめ直しました。

能美支部 交通安全教育教材贈呈 児童・生徒の事故防止を願う



例年、夏休み前に管内の全小中学校の児童・生徒に対し、交通安全教育教材を贈り事故防止を図っています。7月3日、福岡小学校で開催された贈呈式では、代表してこども自転車県大会の出場選手に手渡しました。

松任支部 りんりんマナーアップ 自転車の安全利用の呼び掛け



7月16日、野々市中学校付近の交差点等で自転車りんりんマナーアップキャンペーンを行い、安協役員らはのぼり旗を掲げ、通勤・通学の自転車利用者に交通ルールの遵守や自転車の安全利用を呼び掛けました。

鶴来支部 高齢者グラウンドゴルフ大会 交通安全意識の向上



6月22日、白山郷公園で高齢者グラウンドゴルフ大会を開催しました。参加者を代表して村田年春さんが交通安全宣言を読み上げ、参加者約80人は競技を楽しみながら交通安全への意識を高めました。

河北支部

飲酒運転根絶キャンペーン 手作りうちわで呼び掛け



7月21日、河合谷宿泊体験交流施設「河愛の里キンシュレ」で飲酒運転根絶キャンペーンを行い、バーベキューを楽しむ親子連れに「NO!飲酒運転!!」と記した手作りうちわを配り、飲酒運転の根絶を呼び掛けました。

羽咋支部

交通安全キャンペーン 買い物客に呼び掛け



7月11日、宝達志水町の業務スーパー押水店で交通安全キャンペーンを行い、寶達典久町長、西川真一羽咋警察署長、橘隆春町安協長ら約20人は買い物客にチラシや反射材を配り、事故防止を呼び掛けました。

七尾鹿島支部

交通安全啓発看板贈呈 ドライバーに呼び掛け



町内で起きた交通死亡事故を受け、中能登町の能登部上区今町の町内会から看板製作の要望がありました。7月19日、同区会館前で贈呈式を開催し、宮下実之七尾警察署長が林真弥町会長らに手渡しました。

穴水支部

ストップマーク贈呈 児童に注意を促す



新学期が始まる前に横断時の注意を促すストップマークを小学校の通学路に設置しました。8月21日、穴水小学校に村山隆安協長が訪問し、吉村明美校長に12枚を、また、向洋小学校には8枚を贈呈しました。

輪島支部

高齢者ドライビングスクール 運転技術を再確認



8月8日、輪島総合自動車学校で高齢者ドライビングスクールを開催し、巡回バスやスクールバスの運転手ら7人はシミュレータ機器を使って反応の速さや動作の正確さを診断するなど、運転技術を再確認しました。

石川県内

交通事故発生状況

区分	年累計	前年比増減数
件数	1,224件	-207件
死者	17人	-1人
傷者	1,397人	-242人

石川県内市町別

交通死亡事故ゼロ継続日数

1位	川北町	3,174日
2位	志賀町	1,783日
3位	宝達志水町	1,548日
4位	津幡町	1,481日
5位	穴水町	1,068日
6位	野々市市	1,058日
7位	輪島市	718日
8位	内灘町	489日
9位	羽咋市	380日
10位	中能登町	343日

石川県警察本部交通部交通企画課調べ
(令和6年9月23日現在)

能登支部

交通安全教室 自転車の正しい乗り方を学ぶ



7月19日、能登高校で県警交通機動隊員による交通安全教室を開催し、全校生徒184人が自転車の正しい乗り方を学びました。また、当支部から反射マスコットキーホルダーをプレゼントしました。

珠洲支部

ピカチュウ反射材贈呈 児童を交通事故から守る



全日本交通安全協会から能登半島地震被災地支援としてピカチュウの反射材が寄贈され、管内9小学校全児童に贈呈しました。9月4日、上戸小学校に大浜靖弘上戸支部長らが訪問し、代表児童に手渡しました。

石川県安全運転研修所のご案内

～3つの研修コース～



石川県安全運転研修所は、3つの研修コースがあり、安全運転の基本を学ぶ中で事故防止の技術を習得することに重点を置き、厳しい交通環境に適應できるドライバーの育成を目指しています。

指導研修は、ドライバーの立場に立って親切・丁寧をモットーとしており、きっと満足頂けるものと思います。職員一同、ご来所をお待ちしております。

1 リフレッシュコース

運転免許を持っている方の研修です。指導員が同乗し、基礎から応用技術まで親切な指導が受けられます。スキッド研修も体験できます。

- 会社の社員研修、交通事故や違反の防止、運転の見直しなど

2 チャレンジコース

運転免許の取得に挑戦する方の研修です。指導員がマンツーマンで指導します。

- 上位運転免許の取得や運転免許再取得をされる方など

3 貸しコース

免許を持っている方のマイカーでの練習です。

- 道路では少し不安なのでコースでもう少し練習したい方など



「スキッドコース」を完備

冬道などのスリップの怖さを体験し、安全なブレーキ操作やハンドル操作等の研修ができます。



滑りやすい路面でスリップ体験



滑りやすい坂道で発進体験



わだちで進路変更等体験

所在地：金沢市東蚊爪町2丁目1番地 電話：076-237-2735（研修は完全予約制）

交通安全協会に加入して交通安全にご協力を

交通安全協会は、安全で住みよい交通社会の実現をめざして県内の各地域で様々な交通安全活動を展開しています。この活動の支えとなっているのが会員の皆様からご支援をいただいている会費です。皆様の住む地域の交通安全活動のために、ご協力をよろしくお願いいたします。

WEBサイトを
ご覧ください。



安全で住みよい交通社会の実現をめざして

こうつういしかわ

紅葉号 2024 Vol.614

一般財団法人 石川県交通安全協会

〒920-0209 金沢市東蚊爪町2丁目1番地

TEL:076-238-0496 <https://www.i-ankyo.jp>

表紙写真提供：金沢中支部

令和6年10月1日発行
（隔月偶数月1日発行）

定価 25円(税込)